

臨床研究概要

1 整理番号 16-1-21

2 研究課題名

心不全入院患者の体重変化と予後の関連性

3 目的と意義

当院ハートセンターに心不全(HF)にて2001-2013年に入院した患者を対象とする。対象者の背景(心不全入院患者の体重変化の $\Delta B.W$ に加えHFの治療や増悪因子)のデータを後ろ向きに収集・検討する。それにより、今後のHFの予後予測、治療の更なる適正療法へ貢献する。

4 適格基準

対象疾患: HFの診断で入院加療を行った症例(調査対象期間:2001年1月1日より2013年11月30日)。性別:問わない。年齢:問わない。

5 方法

適格基準を満たした患者の下記の項目についてデータを收拾する。

患者情報:生年月日、性別、既往歴。HFの原因。

治療内容:退院時の投薬内容

身体所見:身長、体重、血圧、体表面積(DuBois式)、NHYA function class、入院時体重、退院時体重

血液検査:Cr、 C_{Cr} (Cockcroft-Gault式)

非侵襲的検査:心臓超音波検査(LVEF)

6 評価項目

主要評価項目: $\Delta B.W$ と初回心不全入院から2年間の時点での生存との関連性

副次的評価項目: $\Delta B.W$ と初回心不全入院から2年間の時点での心不全再入院との関連性

7 目標症例数

主要評価項目:併用薬剤の差異によるトルバプタンの効果の違い

調査対象期間で適格基準を満たす全症例(およそ130例)(研究期間:病院長許可日より2016年12月31日)

8 協力病院:なし